

第4次佐倉市地域福祉計画

基本理念 「一人ひとりがともなへくむお互いさまの地域づくり」

一人ひとりの違いや個性を認め合いながら、誰もが役割を持ち、活躍できる、安心して暮らししていくことのできる、お互いさまの地域づくりを目指します。

「ボランティアセンター」～住民参加を促進し、充実するために～

第4次佐倉市地域福祉計画では、4つの基本目標を掲げており、その中の、「住民参加をさらに促進し、充実します」の項目の一つに、ボランティアセンターがあります。

ボランティアセンターでは、地域のボランティアをサポートし、ボランティアの育成・登録・紹介のほか、活動に役立つ情報提供などを行っています。そのほか、ボランティアをした人が必要としている人との、コーディネートなどの役割を果たしています。今回は、ボランティアセンターに寄せられた声と、活動の一部を紹介します。

「ボランティアセンターに寄せられた実際の声」

◆一人暮らしの男性

「入院中で洗濯物に困っている。有料でいいので紹介して欲しい。」

対応…地区社会福祉協議会の支えあいサービスを紹介。すぐに、洗濯を開始してもらいました。

◆60代男性

「仕事ばかりで家事をしてこなかった。洗濯や掃除、ゴミ出しなど家事一切がわからない。家事を覚えてくれる所があれば教えてほしい。」

対応…若いので家事補助サービスの利用は難しいが、家事を学んでもらって、支えあいサービスのサポーターとして活動してもらえる可能性があると考え、本人へ案内。その後、ゴミ出しなどサポーターとして活動してもらっています。

◆市内のカレー店経営者

「コロナの影響で困っている人にカレーの提供をしたい。」

対応…さくらあったか食堂ネットワーク（市内で活動する、子ども食堂や地域食堂のネットワーク）の代表を通じて、ネットワークに加盟している団体や民生委員に連絡してもらい、5月までの約3週間で230食以上のカレーを届けました。

◆複数のかたから…

「話し相手が欲しい。」

対応…個人ボランティアや傾聴の団体を紹介して、施設や個人宅で、話し相手となっています。

「将棋や麻雀ができるが、自分ができる活動はないか？移動は徒歩か自転車です。」

対応…個人ボランティア登録をし、活動保険に加入してもらっています。自宅から近いデイサービスで相手を募集し、つなげる活動を予定しています。

◆その他

見守りと安否確認を目的に、75才以上の一人暮らし高齢者に、月1回、手作り弁当を届ける

配食サービス事業を佐倉市社会福祉協議会が実施。その活動をボランティア団体が担っています。訪問時に、不在や様子が気になる時は、地域包括支援センターや担当の民生委員に連絡し、情報を得たり、直接訪問したりして、様子を確認してもらっています。

「ボランティア活動の一例と参加者の声」

▼使用済み手収集の会 毎月1回集まり、使用済み切手を整理・販売し、売り上げを寄付しています。（写真下）

▼参加者の声 「活動を通じて、私自身成長させてもらっている」「それぞれ自分にできる事を出し合って、助け合うことで、



明るい社会ができると思う」「ボランティア活動をするのが、私自身の健康づくりになっており、生きがいになっている」

佐倉市ボランティアセンターでは、現在、個人ボランティア280人とボランティアグループ106団体、個人・グループあわせて2681人（令和2年3月31日現在）のかたが登録し、活動しています。

※詳細は、佐倉市社会福祉協議会ホームページをご覧ください



ボランティア活動してみたい人、ボランティアを頼みたい人は、ご相談ください

問い合わせ ①佐倉市ボランティアセンター

☎(484)6198、FAX(486)2518

②西部地域福祉センター ボランティアセンター ☎(463)4167、FAX(463)4169

③南部地域福祉センター ボランティアセンター ☎(483)2811、FAX(483)7212

①②は(福)佐倉市社会福祉協議会、③は(福)愛光が運営しています。